

Syllabus Id	Syl-082240
Subject Id	Sub-082403801
更新履歴	080314
授業科目名	工業英語 English for Engineers I
担当教員名	芹澤弘秀 SERIZAWA Hirohide
対象クラス	制御情報工学科4年生
単位数	1学修単位
必修/選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

産業活動のグローバル化に伴い、技術情報の交流やコミュニケーションの手段として工業英語の正しい理解と活用が学界ならびに産業界において必須のものとなっている。本講義は、工業英語の実践力の向上を目標として演習を主体に進め、受講生に文部科学省認定工業英検4級の取得を奨励する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

4学年までの英文法、英単語力ならびに機械工学、電気電子工学、化学、情報工学の基礎知識

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
	D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力を身につける。		
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		

授業目標

1. 工業英語の基礎単語 600 語程度の和訳と英訳ができる。
2. 工業英語の基本的文章の和訳と英訳ができる。
3. 工業英検 4 級が取得できる。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ		参観
第1回	前期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明、単語説明(1~20)	
第2回	数の表現	単語テスト、技術英文ルール1、単語説明(21~40) 英文読解	
第3回	数の表現	単語テスト、技術英文ルール2、単語説明(41~60) 英文読解	
第4回	数の表現	単語テスト、技術英文ルール3、単語説明(61~80) 英文読解	
第5回	数の表現	単語テスト、技術英文ルール4、単語説明(81~100) 英文読解	
第6回	数の表現	単語テスト、技術英文ルール5、単語説明(101~120) 英文読解	
第7回	前期中間試験		×
第8回	数の表現	テスト解説、技術英文ルール7、単語説明(121~140)	
第9回	数の表現	単語テスト、技術英文ルール8,9、単語説明(141~160) 英文読解	
第10回	単位の表現	単語テスト、技術英文ルール10、単語説明(161~180) 英文読解	
第11回	単位の表現	単語テスト、技術英文ルール11、単語説明(181~200) 英文読解	
第12回	単位の表現	単語テスト、技術英文ルール12、単語説明(201~220) 英文読解	
第13回	単位の表現	単語テスト、技術英文ルール13、単語説明(221~240) 英文読解	
第14回	単位の表現	単語テスト、技術英文ルール14、単語説明(241~260)	

第 15 回	前期末試験		×
第 16 回	後期オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明、テスト解説、単語説明 (261～280)	
第 17 回	式の表現	単語テスト、技術英文ルール 15,16、単語説明 (281～300) 英文読解	
第 18 回	式の表現	単語テスト、技術英文ルール 17、単語説明 (301～320) 英文読解	
第 19 回	記号の表現	単語テスト、技術英文ルール 18,19、単語説明 (321～340) 英文読解	
第 20 回	記号の表現	単語テスト、技術英文ルール 20,21、単語説明 (341～360) 英文読解	
第 21 回	ハイフンの使用法	単語テスト、技術英文ルール 22、単語説明 (361～380) 英文読解	
第 22 回	ハイフンの使用法	単語テスト、技術英文ルール 23、単語説明 (381～400) 英文読解	
第 23 回	後期中間試験		×
第 24 回	句読点	テスト解説、技術英文ルール 24、単語説明 (401～420)	
第 25 回	句読点、略語	単語テスト、技術英文ルール 25,26、単語説明 (421～440) 英文読解	
第 26 回	略語	単語テスト、技術英文ルール 27,28、単語説明 (441～460) 英文読解	
第 27 回	技術英文の特徴	単語テスト、技術英文ルール 29,30、単語説明 (461～480) 英文読解	
第 28 回	技術英文の表現	単語テスト、技術英文ルール 32、単語説明 (481～500) 英文読解	
第 29 回	技術英文の表現	単語テスト、技術英文ルール 33、単語説明 (501～520)	
第 30 回	後期末試験		×

課題

出典：ハンドアウトとして授業中に適宜配布
提出期限：出題した次の週
提出場所：授業開始直後の教室
オフィスアワー：授業実施日の 16:35～17:15

評価方法と基準

評価方法

1. 工業英語の基礎単語 (500～600 語程度) の和訳・英訳の到達度について講義の中の小テストと定期試験で確認する。
2. 工業英検 4 級程度のリーディング、ライティングの力がついているかどうかについて、定期試験で評価する。

評価基準

前期中間試験 15%、前期末試験 20%、後期中間試験 15%、後期末試験 20%、小テスト 20%、課題の提出 (積極性も含む) 10%

教科書等 片岡英樹 著 「必携 技術英文の書き方 55 のルール」(創元社) プリント (適宜配布)

先修科目 4 学年までの総合英語ならびに機械工学、電気電子工学、化学、情報工学の基礎知識

関連サイトの URL

授業アンケートへの対応 話し方を工夫する。

備考

1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。
2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。